

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

県内の新型コロナウイルス検査の陽性者数は第31週 12,137人から第32週 14,958人と急増しています。県では、保健・医療のひっ迫回避と感染回避の更なる徹底により重症化リスクの高い方を守るため、8月9日に「愛媛県 BA.5 対策強化宣言」を発出しました(8月31日まで)。帰省等で普段顔を合わせない方との会食や混雑する場所への出入り等、感染リスクが高い行動を取った方は、体調管理に十分注意し、高齢者など重症化しやすい人への接触を控えましょう。また、医療機関を受診する場合は、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター(089-909-3483)」へ事前に電話相談し、案内に従って受診してください。なお、症状が軽い場合は、できる限り平日・日中に受診するなど、適正な受診をお願いします。『愛媛県庁ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』



発生動向の概況

※今回の報告期間はお盆による医療機関の休診日を含んでいます。

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、第31週 4.0人から第32週 3.0人と減少しましたが、宇和島保健所を除く県内全域で多い状況です。この疾患は、乳幼児を中心に流行し、発熱や鼻汁、咳など軽いかぜ様症状がみられますが、生後6ヶ月未満の乳児が感染すると、細気管支炎や肺炎等の重篤な症状を起こすことがあります。日常的に乳児に接する方で咳等の症状がある場合は、マスクを着用し可能な限り乳児との接触を避けましょう。

手足口病の定点当たり報告数は、第31週 0.4人、第32週 0.3人と横ばいで推移していますが、西条保健所を除く県内全域で散発しています。7月以降、全国各地で増加していることから、今後、県内でも増加する可能性があります。この疾患は乳幼児を中心に流行し、患者の鼻やのどの分泌物のほか、便、水疱内容物などによって感染が広がります。感染予防のため、液体せっけんと流水での手洗いを励行するとともに、タオルやコップの共用は避けましょう。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の届出が1例(宇和島保健所管内在住)ありました。この疾患はマダニが媒介する感染症で、マダニの活動が活発となる春から秋にかけて患者が多くなる傾向があります。マダニの生息場所である野山や畑、草むらなどに入る際は、肌が露出しない服装を心がけ、マダニに効果のある防虫スプレー(ディート含有)を使用するなどマダニに咬まれないよう十分注意しましょう。咬まれた場合は、絶対にマダニを引き抜かず、そのままの状態を医療機関(皮膚科等)を受診し、処置してもらいましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

- 二類感染症 : 結核 3例
- 四類感染症 : 重症熱性血小板減少症候群 1例(70歳代女性)
- 五類感染症 : 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(80歳代男性)
- 後天性免疫不全症候群 1例(無症状病原体保有者、30歳代男性、推定感染経路:同性間性的接触、推定感染地域:国内)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1例(80歳代男性)
- 梅毒 4例(30歳代男性2例、40歳代男性、20歳代女性 2022年県内累計78例)
- 新型コロナウイルス感染症 23,033例

※その他、アメーバ赤痢の届出が第30週に1例、梅毒の届出が第30週に1例、新型コロナウイルス感染症の届出が第27週に1例、第28週に18例、第29週に29例、第30週に98例ありました。

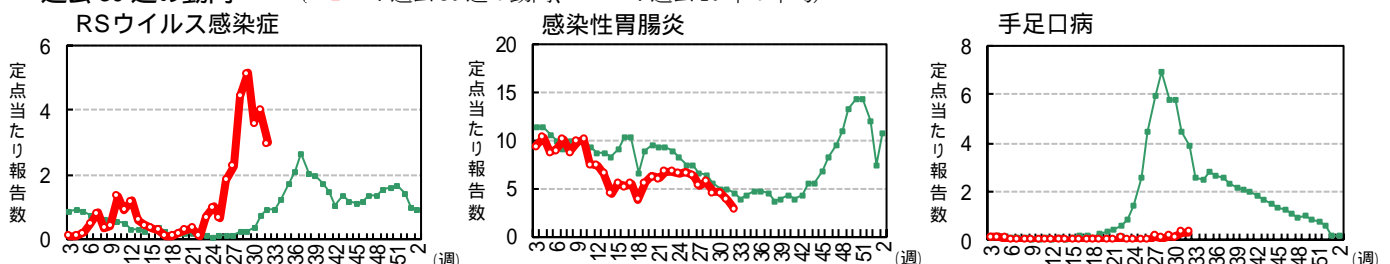
定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	3.0	減少。宇和島保健所を除く県内全域で多い。
感染性胃腸炎	2.9	減少。西条保健所、松山市保健所は他保健所に比べ多い。
手足口病	0.3	横ばい。西条保健所を除く県内全域で散発。

解析評価委員のコメントから

- RSウイルス感染症 : [東予] 増加しています。西条市も増加してきています。 [中予] 減少しています。 [南予] 減少傾向です。
- 感染性胃腸炎 : [東予] 多くはないですが、かわらずみられています。 [中予] 横ばいです。 [南予] 減少傾向です。
- 手足口病 : [東予] たまにみられます。まだ多くはないです。 [中予] 減少しています。 [南予] 増加傾向です。

過去30週の動向 (—○— : 過去30週の動向、—●— : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

○ 日本脳炎ウイルスの人への感染は、感染したブタ等の動物を蚊が刺咬・吸血し、その後人を吸血することにより引き起こされます。そこで、感染症流行予測調査事業の一環として、県内で飼養されているブタについて日本脳炎ウイルスの抗体保有状況を調査し、同ウイルスの蔓延状況を確認しています。

7月27日採血分のブタのHI抗体陽性率は0%でした。なお、本調査は複数のブタ

飼養地域を対象に実施しており、飼養地域等により陽性率が異なる場合もあります。蚊の発生が多い時期ですので、引き続き、蚊に刺されないように注意しましょう。

詳しくは県ホームページをご確認ください。『愛媛県におけるブタの日本脳炎抗体保有状況（2022年）』⇒



愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体 ²⁾	
			検査件数	陽性数
7月 5日	10	3(30%)	3	0
7月 12日	10	0	-	-
7月 27日	10	0	-	-

1) ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。HI抗体価が1:10以上を陽性としました。

2) 最近感染したかがわかります。検査はHI抗体価が1:40以上の検体について実施します。

○ 第28週に松山市で採取された感染性胃腸炎患者検体から腸管凝集付着性大腸菌耐熱性毒素エンテロトキシン1をコードする *astA* 保有下痢原性大腸菌が検出されました。

○ 第30週、第31週に松山市で採取された手足口病患者検体からコクサッキーウイルスA6型が2例検出されました。手足口病は小児に多い疾患ですが、免疫を持たない成人も感染して発症することがあります。患児と接触する前後は液体せっけんとう流水で十分に手洗いをしてください。

過去5週 検出病原体

(2022年7月11日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
28	7/11~7/17	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞便	1
30	7/25~7/31	松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
31	8/1~8/7	松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1

■ 月別病原体検出結果

検体採取月		2022						合計
検出病原体		3	4	5	6	7	8	
ウイルス	コクサッキーA6					2	1	3
	ノロ	2	1					3
	サボ	1						1
	アデノ37			1				1
ウイルス計		3	1	1		2	1	8
細菌	下痢原性大腸菌					1		1
	カンピロバクター		1	1	1			3
細菌計			1	1	1	1		4

■ 臨床診断別検出結果 (2022年6月以降採取検体)

検出病原体	感染性胃腸炎	手足口病	合計
コクサッキーA6		3	3
ウイルス計			3
下痢原性大腸菌	1		1
カンピロバクター	1		1
細菌計	2		2

注) 表中の検出数は8月16日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第32週 (2022.8.8 ~ 8.14)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 週推移 年齢別	
	1)		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)			1)
	インフルエンザ	迅速検査A型														迅速検査B型	ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎		
四国中央	3	2	8			3		1							-	-							四国中央
西条			27			28					2												西条
今治			17	1	2	10		2		4													今治
松山市			32		1	46		4		4	1	1				-	-	-	-	-	-		松山市
中予			19			9		1															中予
八幡浜			8			3		2		2	1												八幡浜
宇和島					1	7		2		2	2												宇和島
愛媛県	3	2	111	1	4	106		12		14	4	1		2									愛媛県
週推移			149	6	13	143	4	13		15				9									1週前
			133	7	7	170	4	5	1	11	3			2									2週前
			191	14	9	169	3	7		14	2	1		7									3週前
年齢別			9			3		1		5													0
			8			23		7		6	1												1-4
			36			20		1		1	1												5-9
			25	1		10		1		1	1												10-14
		1	22			17		2		1	1												15-19
			5		1	5																	20-24
			3			3					1			1									25-29
			2		2	3						1											30-34
						3																	35-39
		1	1			3				1													40-44
						3																	45-49
						9																	50-54
						1																	55-59
						6																	60-64
						6																	65-69
																							70-
														1									

定点当たり報告数

四国中央	-	-	2.7			1.0		.3						-	-								四国中央
西条	.3	-	4.5			4.7				.3													西条
今治		-	3.4	.2	.4	2.0		.4		.8													今治
松山市		-	2.9		.1	4.2		.4		.4	.1	.1				-	-	-	-	-	-		松山市
中予		-	4.8			2.3		.3															中予
八幡浜		-	2.0			.8		.5		.5	.3			2.0									八幡浜
宇和島		-			.3	1.8		.5		.5	.5												宇和島
愛媛県	.0	-	3.0	.0	.1	2.9		.3		.4	.1	.0		.3									愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月17日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2022年7月

患者報告数		STD定点									基幹定点							
		性器クラミジア感染症			感性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症				メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	
		総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性					
保健所別	四国中央	1		1									1				四国中央	
	西条	2	1	1	7	7		4	4		5	5						西条
	今治	5	5		2	2		1	1		2	2		1				今治
	松山市	7		7	1		1	1		1				-	-	-		松山市
	中予													1				中予
月推移	八幡浜 宇和島	1	1								1	1		1				八幡浜 宇和島
	愛媛県	16	7	9	10	9	1	6	5	1	8	8		6				愛媛県
	1月前	19	3	16	15	12	3	5	5		9	6	3	11				1月前
	2月前	17	11	6	14	11	3	8	6	2	12	11	1	9				2月前
	3月前	17	6	11	14	12	2	5	4	1	8	5	3	6			1	3月前
年齢別	0																	0
	1-4																	1-4
	5-9																	5-9
	10-14																	10-14
	15-19																	15-19
	20-24	6	4	2	2	1	1	1		1	4	4						20-24
	25-29	3		3				2	2		1	1		1				25-29
	30-34	4	1	3	1	1		1	1									30-34
	35-39	1	1		1	1					2	2						35-39
	40-44	1		1														40-44
	45-49				1	1												45-49
	50-54				2	2		1	1		1	1						50-54
	55-59	1	1		2	2								2				55-59
	60-64							1	1									60-64
65-69													1				65-69	
70-				1	1								2				70-	

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	1.0		1.0										1.0				四国中央
	西条	1.0	.5	.5	3.5	3.5		2.0	2.0		2.5	2.5						西条
	今治	5.0	5.0		2.0	2.0		1.0	1.0		2.0	2.0		1.0				今治
	松山市	1.8		1.8	.3		.3	.3		.3				-	-	-		松山市
	中予													1.0				中予
愛媛県	八幡浜 宇和島	1.0	1.0								1.0	1.0		1.0				八幡浜 宇和島
	愛媛県	1.5	.6	.8	.9	.8	.1	.5	.5	.1	.7	.7		1.0				愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月10日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2022年 第30、31週 (2022.7.25 ~ 8.7)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
30週	愛媛県		3.6	.2	.2	4.6	.1	.1	.0	.3	.1			.3					
	近畿																		
	香川県		.9	.3	.0	4.4	.1	.6		.3	.1	.0		.2					
	徳島県	.0	1.5	.1	.0	3.1	.1	.6	.0	.4	.1								
	高知県		1.5	.3	.1	1.3	.3	.1		.6	.1	.0		.7					
	全国	.0	2.3	.2	.3	2.7	.1	3.0	.0	.3	.8	.0	.0	.2		.0	.0	.0	
	北海道		1.5	.3	.6	1.3	.1	3.5		.2	.9	.0		.1					
	東北		.6	.2	.2	1.7	.1	2.4	.0	.3	.5	.0		.2			.0	.1	
	関東	.0	1.5	.1	.2	2.6	.1	5.1	.0	.3	1.2	.0	.0	.3		.0	.0		
	甲信越北陸		.3	.1	.4	2.9	.1	6.0	.1	.3	1.6	.0		.1					
東海	.0	4.5	.1	.2	2.4	.1	2.3	.0	.2	.7	.0	.0	.1		.0	.1			
近畿	.1	5.3	.3	.3	2.9	.1	.9	.0	.2	.2	.0		.2		.0	.0			
中国四国	.0	2.1	.2	.2	3.4	.1	1.2	.0	.4	.4	.0		.2			.0			
九州沖縄	.0	1.3	.2	.4	3.5	.1	1.5	.0	.4	.2	.0		.3			.0	.0		

(8.3集計)

31週	愛媛県		4.1	.2	.3	4.0	.1	.3		.4			1.1						
	近畿																		
	香川県		1.5	.3		4.6	.0	1.1		.4	.1	.0							
	徳島県		1.7	.1		2.9		.7		.5	.0								
	高知県	.0	1.3	.4	.0	1.9	.1	.5		.3	.2			.1					
	全国	.0	2.3	.1	.3	2.4	.1	3.3	.0	.3	.8	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0	.0
	北海道	.0	1.4	.2	.5	.7	.0	4.9	.0	.2	1.5	.0							
	東北	.0	.7	.1	.2	1.8	.1	3.6	.0	.4	.7	.0		.1	.0	.0		.0	
	関東	.0	1.6	.1	.2	2.2	.1	5.7	.0	.3	1.2	.0	.0	.2		.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸	.0	.7	.1	.3	3.0	.1	5.2	.0	.3	1.4	.0		.1		.0			
東海	.0	3.2	.1	.2	2.1	.1	2.8	.0	.3	.8	.0		.0		.0	.0			
近畿	.1	5.1	.2	.3	2.2	.0	1.0	.0	.2	.3	.0		.1		.0	.0	.0		
中国四国	.0	2.5	.2	.3	3.1	.1	1.1	.0	.3	.4	.0		.3	.0		.0	.0		
九州沖縄	.1	1.7	.1	.5	3.2	.1	1.4	.0	.4	.2	.0		.3			.0			

(8.10集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

